

選ぶ・歩む・拓く

〈編集・発行〉

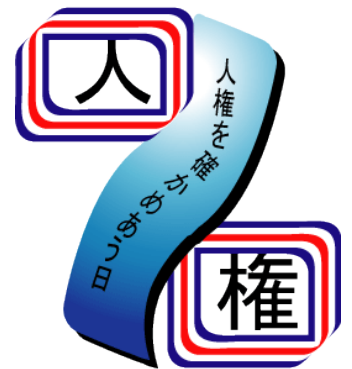
東中学校 進路指導部

○ 私立高校・専修学校の受験校決定・確認へ

私立高校・専修学校の受験校を決める教育相談が終わりました。担任の先生との相談を進める中で、順調に決定した生徒もいれば、それまでの希望に変更の必要が出た生徒もいましたが、これからは、自分の受験校へ合格することだけを考えてがんばっていきましょう。

みなさんやお家の人の希望と異なることを、結果や助言として伝えるのは、先生たちも本当につらいものです。しかし、「東中学校3年生のみんなを応援し、支えていきたい!!」という気持ちを3年の先生たち全員がもっています。希望通りに進めることができなくても、教育相談で話し合った結果を大切にしてほしいと思います。

今後、最初にする手続きは願書を書くことです。まずは、下書きから始めます。裏面を参考にして丁寧に進めていきましょう。



○ 残りの中学校生活でも・・・

「正当な理由以外の欠席や遅刻がない」ことや「掃除などをきちんとできる」、「部活動では3年間ほとんど休まず練習に励んだ」など・・・高校や専修学校の先生方と話していると、こんな受験者はとても魅力的だそうです。

進路先の学校は、受け入れた生徒を3年間責任をもって育て、次の進路に送り出さなければなりません。われわれ中学校の教員は、目立った特技や実績がなくても「自分のやるべきことが、きちんと継続してできる」という生徒にはついては、自信をもって送り出すことができます。どの学校も「次の進路先に生徒を送り出す」というゴールは同じですから、高校や専修学校の先生も同じように考えているということではないでしょうか。

大切なことを進める手続きが忙しい日々ですが、毎日授業があります。新研究も提出しなければいけませんし、係や掃除、当番活動など、クラスではしっかりと自分の役割を果たさないとはいけません。日常の活動はしっかりと続けていきましょう。

◎ お家の方へ

本日は、お越し頂きありがとうございます。生徒たちはよいよ次の進路先を選択し、手続きを進めていく時期となりました。本日受け取った願書を生徒が書く際には、下書き、清書ともに保護者の方にも目を通していただき、家庭での十分な指導のもとで進めていただきますよう、お願いいたします。

また、願書のことに限らず、判断に迷うことがありましたら、遠慮なく担任・中学校にお問い合わせください（東中学校 TEL：54-6511）

願書下書きについて

- 言うまでもなく、とても重要な書類です。必ず、本人が書きます。
- 汚れたり、濡れたり、破れたりすることのないよう、書くときも運ぶときも大切にしましょう。
- 下書きなので必ず鉛筆で書きましょう。清書はチェック後です。押印やお金の振り込みもまだ絶対にしないようにしてください。
- あとが残るほど強く書くこともないようにしましょう。
- 文字は楷書で、丁寧に書きましょう。
- 氏名、住所、生年月日などは正確に記入する。
- 住所は「三丁目21番地」など、丁寧に。(旭台のみ3丁目,2丁目のように算用数字となっています。)
- 中学校番号は県内の学校であれば、「1302」がほとんどです。募集要項に記載があるので確認する。
- みなさんは「平成27年3月31日 卒業見込み」です。
- 性別や卒業見込などの項目を選ぶ部分は該当する方を丁寧に○で囲む。
- 出身中学校名は「尾張旭市立東中学校」と書きます。「東中学校」だけではわかりません。また、「市」が抜けるなど間違いの多く見られる項目です。
- 願書の日付は「平成27年1月13日」です。
- 「ふりがな」とあればひらがなで、「フリガナ」とあればカタカナで書く。
- 本人の「保護者との続柄」は長女・二男など、保護者の「本人(志願者)との続柄」は父・母など。
- 保護者の住所は募集要項の記入例などにしたがって書く(記入不要とあったり、「志願者に同じ」であったり、「本人に同じ」など)。指示がなければ、「志願者の欄に同じ」とする。
- 希望コースなども忘れないように記入する。
- 銀行に出す部分や、受験票の部分、封筒なども忘れずにきちんと書く。

※ 下書きが済んだら、必ずお家の人に見てもらいましょう。

※ 提出書類であるだけでなく、みなさんの個人情報も含まれています。

大切に扱いはしう